



# 学校だより

《学校教育目標》 (知) 主体的に学ぶ生徒  
 (徳) 正しく判断できる生徒  
 (体) 心身を鍛える生徒  
 <No. 8> 令和4年9月30日 (金)

## さいたま市立白幡中学校

〒336-0022 さいたま市南区白幡2-18-13

TEL048-861-3203 (学校)  
 866-5789 (相談室)

<http://shirahata-j.saitama-city.ed.jp>

### 学校・家庭・地域で子育て コミュニティスクール

校長 長島 淑子

日に日に秋らしくなってきました。皆様いかがお過ごしでしょうか。  
 新型コロナウイルスの感染者数も一時よりだいぶ少なくなり、昨年できなかった新人体育大会ができるようになったり、合唱祭や駅伝大会が今年も開催方法を工夫して行えたり、少しずつ日常が戻ってきていることをとても嬉しく思います。連休中も、感染予防をしながら各部活動の練習に励んでいた生徒達をどうぞ応援してあげてください。

9月号でお知らせしました通り、白幡中学校コミュニティスクールでは、「地域の宝」である子どもたちをみんなでよりよく育てるために、生徒が「挨拶」と「ボランティア」で地域と関わることから活動を開始しました。今年、PTAの方々の挨拶運動も復活し、毎朝、保護者の方々が、昇降口近くの階段付近で、挨拶をしてくださっています。思春期の恥ずかしさから、大きな声を出せない生徒もいますが、多くの生徒が声をだしたり、会釈をしたりして挨拶できるようになってきました。外からいらっしゃるお客様からは、「よく挨拶する中学生ですね」とお褒めの言葉をいただくまでになりました。ボランティアも、学校内、近隣小学校、公共機関、自治会など様々な方々から機会を提供していただいたおかげで、今年度はすでに、200人もの生徒がボランティアを体験しています。今後も、南区の区民まつりなどでのボランティアが予定されています。「人のために働く体験」「地域の力になる体験」をすることで、地域の方と顔見知りになり、地域の絆が生まれ、みんなで力を合わせるコミュニティができます。そして、ゆくゆくは、地域の方々と一緒に防災に取り組み、いざという時に助け合えるコミュニティとなることを目指しています。そのはじめの一歩として、総合的な学習の時間に、地域の防災ボランティアの方々にご協力いただき、地域の危険箇所を知る「フィールドワーク」に取り掛かろうとしています。学校や自分の家族だけでなく、地域の方々から、何かを学び、力になり、感謝される喜びを感じることが、将来、地域の役に立つ、地域で頼りになる人を育てることになると思います。生徒たちの健やかな成長のために、これからも地域の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

さて、今年もさいたま市PTA協議会が「楽しい子育て全国キャンペーン」として3行詩を募集し、さいたま市10区の各連合会において、区連会長賞が選出されました。本校からも、3年、森田 愛さん、2年、奥澤優貴さん、1年、柏倉滉太さんの作品が選ばれました。

たくさんの作品の中で、次の市内小学校の、保護者作品に心打たれました。

**ごめんねと寝顔にあやまるくらいなら  
 もっと目を見て話せば良かった  
 いまとなっては些細なことに  
 焦って急かして怒ってばかり  
 明日は一つ深呼吸して  
 ただただ君と話してみよう!**

お母さんの心の葛藤が、伝わってきました。みんな迷いながら、子育てしてるのですね。  
 このやり方が正しいというものがあるわけではない子育て。上の子には合っても下の子には通用しないことも……。

でも、子どもはちゃんと見ています。  
 本校生徒の作品です……。  
 これが何より嬉しいのです。  
 この温もりを感じさせてあげることが何より大切なことだと日々感じています。

**いつも何でも聞いてくれて  
 心が「ほっ」と温まる  
 学校から帰ると「おかえりー！」  
 やさしく出迎えしてくれる  
 家族みんないつも温かい**